

WEEKLY BULLETIN

横浜南ロータリークラブ(D-2590)

例会日 毎週土曜日12:30~13:30
例会場 ローズホテル横浜 TEL.681-3311
事務所 横浜市南区宮元町1-14
サンワビル203 TEL.309-7962



RI 第 2590 地区ガバナー：樋口 明

世界に希望を生み出そう

会長：鳥山 直樹
会長エレクト：青柳 隆之
副会長：川崎 智晴
幹事：小野 哲
クラブ会報委員長：齋藤 久夫

第 2931 回 (第 27 回) 例会

2024年3月23日(土) 会場 ローズホテル 3階

- 1. 点鐘 鳥山 直樹 会長
2. 合唱 合唱委員会
3. ゲストの紹介 鳥山 直樹 会長
4. ビジターの紹介 親睦活動委員会
5. スマイルの発表 親睦活動委員会
6. 出席報告 出席委員会
7. 会長報告 鳥山 直樹 会長
8. 幹事報告 小野 哲 幹事
9. 卓話

プロ野球~栄光と挫折~

元横浜 DeNA ベイスターズ 赤堀 大智 様
(横浜ベイ RC)

◆次回(2024年3月30日(土))例会予告◆

ローズホテル会場 2階

創立記念 夜間例会

点鐘 18:00

《合唱歌詞》

早春賦
春は名のみの
風の寒さや
谷の鶯 歌は思えど
時にあらずと声も立てず
時にあらずと声も立てず
氷解け去り葦は角ぐむ
さては時ぞと
思うあやにく
今日もきのうも雪の空
今日もきのうも雪の空

作詞：吉丸 一昌
作曲：中田 章

前回 2930 回例会記録

令和 6 年 3 月 9 日 (土)

点鐘：鳥山 直樹 会長
合唱：「仰げば尊し」

Table with 4 columns: 会員数, 本日出席数, 本日出席率, 修正出席率. Values: 47 (38) 名, 39 (34) 名 (内オンライン0名), 90.70%, 92.68%

ゲスト：林 直子 様
(桐光学園インターアクトクラブ顧問)

ビジター：親松 裕明 様
(川崎百合丘ロータリークラブ 会長)

◎今週メイクアップへ行った会員

- 2/26 地区職業奉仕委員会 (岸会員)
2/27 地区研修・協議会 (岸会員)
2/27 地区 RYLA 委員会 (岸会員)
3/2・3 地区フレッシュ交流会 (宮田・佐藤・澤田・井原・藤塚・藤井・北井・石野 各会員)
3/8 レディース交流会 (宮田・坪居 各会員)

《会長報告》 鳥山 直樹 会長

- 1. 昨日3月8日(金)、横浜ロイヤルパークホテルにて、レディース交流会が開催されました。宮田地区交流委員長、坪居会員にご出席いただきました。ありがとうございました。
2. 3月5日(火)、2023-204年度地区補助金プロジェクト「リラのいえ」の洗濯機防水パン更新工事に協力と立ち合いのため、川崎副会長、水谷会員、新堀会員、佐藤社会奉仕委員長と私で、伺ってまいりました。

次回合唱曲 「横浜南ロータリークラブの歌」

3. 明日3月10日関東学院中学校高等学校にて、国際奉仕委員会主催の「和の集い」が開催されます。ご出席いただきます皆様、宜しく願いいたします。

## 《幹事報告》

小野 哲 幹事

1. 本日、10階にて、次年度第3回理事会が開催されます。ご出席いただきます次年度理事・役員の皆様、宜しく願い致します。
2. 次週3月16日の例会は休会となります。次回例会は、3月23日になります。お間違えの無いようお願いいたします。
3. 他クラブから例会変更の案内がきております。会報に掲載いたしましたので、ご確認をお願いいたします。

## 《他クラブ例会変更のお知らせ》

### ●横浜中 RC

4 / 19 (金) 2CLUB 合同夜間移動例会

会場：ホテルニューグランド  
レインボールーム

5 / 3 (金) 休会

## 《卓話》

ロータリーとの出会い

桐光学園インターアクトクラブ顧問

林 直子 様



本日はお招きくださりまして、ありがとうございます。長年、皆様には何かと親しく可愛がっていただき、感謝申し上げます。ロータリーの行事ではない時でも、たとえば、三ツ沢競技場でうちのサッカー応援の帰り、あるいは横浜スタジアムでの野球応援の後などに「例会の後に飲んでからおいで」と呼んでいただき、関内や野毛にお邪魔したことも楽しい思い出です。南クラブさんの、とても温かい雰囲気大好きです。皆様は、提唱されている関東学院 IAC をたいへん熱心にサポートされていて、提唱クラブとして理想的な関係を築いておられ、私どものお手本です。

ここで、少し自己紹介をさせていただきます。私は、茅ヶ崎市の出身ですが、今では横浜に住む年数の方が長くなりました。大きい街でありながら、義理人情に厚くて人が温かいこの横浜は、とても居心地がよいです。校外での仕事としては、昨年まで本校管内の川崎の麻生警察署の協議会委員を拝命しておりましたが、この仕事を通して、警察官の皆様からも多くを学ばせていただき、公私ともに親しくお付き合いいただいています。先月は、講話教養という、卓話のようなお話を担当させていただきました。また、ご栄転のお祝いの会や、お互いのお誕生会を開いたりしています。警察の皆様は、細やかにお気遣いくださる優しい方ばかりで、ロータリアンの皆様と似ています。

プライベートでは、4年前から歌を作り始めました。五・七・五・七・七の短歌です。学校の授業で、古典の和歌はたくさん鑑賞してきましたが、自分自身が表現して何かの形にして残す、ということをやりたいと思い立ちまして、「かりん」という短歌結社に入会して、毎月投稿しています。短歌は奥が深くて難しいのですが、少しずつつまくなっていくといいと思っています。

この10数年ほどで両親を見送った後、自分が一生を終えるまでにやっておきたいこと、見ておきたいものは何か？と考えるようになりました。一度は見ておきたいものは、たくさんありますが、優先順位をつけてみるところ、一番は「オーロラ」でした。そこで6年前にオーロラを見るためにカナダへ行って、幸運にも、見事なオーロラを地上と飛行機の中から見ることができました。オーロラは、何とも形容しがたい美しさで、魂の底から揺さぶられるような感動を覚えました。

定年も近くなってきたので、老後のこともよく考えるようになりました。最近では、墓じまいをどうするか？をお世話になっているロータリアンにご相談して、その方の会社さんをお願いすることを決めたりしました。

本日は、ロータリーにいただいたご縁が、いかに私を幸せにしてくださったか、そして、青少年の育成について今思うことについてお話し申し上げます。

お手もとのプリントは、RIの日本語公式ブログ「ロータリーボイス」に掲載していただいた記事で、3年前のロータリー地区大会の記念誌用のインタビューを短くまとめたものです。なぜ、かような記事にさせていただいたかということ、遺言書を作成したことが理由です。私には、

法定相続人がおりませんので、遺言書を作成しておかないと、私が亡くなった後に遺る“かもしれない”多少の財産はすべて国庫に入ってしまう。そのため、元氣なうちに、その使い道を自分の意志で決めておきたいと考えました。私には、長年お世話になっているロータリーへささやかな恩返しをしたい、という思いがございました。それで、「遺贈」という形で、一部をロータリークラブに寄付させていただくことにしました。自分があとのくらい長く生きられるのか？また老後にどのくらい費用がかかるのか？はわかりませんので、あくまで「私が亡くなった時に、もし遺っていたら」との仮定です。そこで、手続き上ロータリーの「遺贈友の会」に入会させていただきました。今現在は、まだ1円も寄付しておりません。あくまで死後の「遺贈」のお約束をただけですので、どうぞ誤解なさらないでください。

遺言書ができた後、ある日、ロータリー日本財団の理事でいらっしゃる金杉PGから「このたびは、ロータリーへの遺贈を決めてくださってありがとうございます。」とのメールをいただき、びっくりして悲鳴をあげてしまいました。その後、地区の財団委員会から「地区大会で表彰したいので来てください」とのご連絡もいただき、またまた驚いて、ひっくり返ってしまいました。何と畏れ多いことでしょう。その年度の地区大会では、ガバナーより表彰していただき、たいへん恐縮しております。多くのロータリアンから「大口寄付してくれただって？」と言われましたが、「いえ、まだ寄付していません。私が死んだ後の話です。大口の寄付ができるかはわかりません。しがたない教員ですから。」と、いちいちご説明しています。ロータリーでは、「遺贈」のお約束をただけで、まだ寄付はしていません。すでに「寄付した」ということになるのです。存じ上げませんでした。

遺贈の段階で、もし可能であれば「恒久基金」の形にさせていただいたら、と考えております。これは、寄付した金額を運用して得られた利益だけを使って、もとの寄付そのものは永久に使わないというものです。現在、平均4%ほど利益をあげているそうです。さらに、額によっては、使っていただく地区や分野も指定することができます。これも、もし条件を満たせば2590地区で、そして青少年育成分野に役立てていただきたいと思っております。当然ながら、人の命は限りがあって必ず最期を迎えます。しかし、この世とお別れをした後でも、そういう形でロータリーとのご縁が続けられるならば、これほど嬉しいことはありません。ただ、かつてあるロータリアンから「先生は、インターアクトの顧問を、生まれかわ

て100年やってるんでしょ？」と言われたことがあります。もし、このお言葉通りに生まれかわることができましたら、ぜひまた顧問をさせていただきたいです。

以上の遺贈についてのお話ですが、これから何を申し上げたいかという、なぜ私がそういう考えに至ったかということです。お手元のブログ記事には、ロータリーとの出会いから、インターアクトとの関わりを通して経験させていただいたことの一部が書かれています。そちらに補足する形で、お話しさせていただきます。

私が教師になって一番よかったことは何か？といえば、「インターアクトの顧問になれたこと」です。クラブ活動の顧問は、本校では教員の希望に関係なく、校務分掌として、学校長が一方的に決めます。私も、初めてIACの顧問になった時は、何をしている部活なのか全く知りませんでした。失礼ながら、ロータリークラブについても何も知識がございませんでした。その後、だんだん分かってくるにつれて、とても楽しくなり、やりがいを感じるようになってきました。

私が感じているインターアクトの素晴らしさは、まず、数字では計ることができない、またその必要もない価値を求めていることです。学校での活動の中心は、もちろん学習ですから、成績が伴います。試験の点数や通知表の成績、そして順位という数字が常につきまとい、それが、イコール評価となります。学力をつけていく上でこれは当然必要なことです。人間が物事を考えていく上で、その土台となるのは基礎学力です。言葉を含めた知識を知らないと、そもそも「考える」ことができません。何が正しいのか、何が大切なのか、自分は正しいのか。この学力を身につける教育こそ、「世界平和」をつくる土台になります。ただ、学生生活が続いている間は、この数値化される評価が、そのまま自分という存在の評価であると受けとめてしまいがちです。それで、あまり成績がよくない子は、自己肯定感が低くなり、自信がもてずに卑下してしまったりします。勉強があまり出来なくても、スポーツが得意な子はまだ救いがあります。しかし、スポーツも勉強もパツとしない子の多くは、精神的なよりどころも持たず、自分自身の価値を見いだせないまま、学校を卒業してしまいます。

一方、インターアクト活動の中については、優劣をつける必要はないと思います。地区の各学校で、お互いに活動報告や活動計画を発表する機会があります。一覧表にもなります。それを見ると、ついで他の学校と比較して、

活動の数が多いと活発で良い、少ないと良くない、という評価をしてしまいがちです。実はこれは誤りだと思います。人数も、学校によって差があります。活動したくてもできない事情もあります。もちろん、たくさん活動をしているクラブは素晴らしいです。でも、他の学校と比べて活動が少ないから駄目、ではありません。なぜなら、活動そのものが目的ではないからです。インターアクト活動の目的は、「リーダーシップを育てること」です。活動は、そのための方法・手段です。7年前に本校で開催した年次大会のプログラムに書いた顧問の挨拶の中で、この目標を「北極星」にたとえました。北極星は、いつも高い空の変わらない場所にある「軸」です。この北極星こそが目ざすべき目標、本質的な価値だと思います。インターアクトたちには、北極星を見上げながら、それぞれの道を歩んでいってもらいたいと書きました。そして、ともに歩んでいく仲間、大勢います。

では、その北極星、リーダーシップとは何か？という、これはなかなか難しいです。おそらく、各界のリーダーでいらっしゃるロータリアンの皆様にお尋ねしても、いろいろなお答えが返ってくるのではないのでしょうか。お手元の資料2枚目にもありますが、私は、リーダーシップとは、少なくとも「技術」ではないと思います。話の仕方が面白くて上手だとか、集団を統率するのがうまいとか。極端に言えば、そんなことはどうでもいいとさえ思います。ただの技術ですから。大切なのは、いつも他人の立場になって考えることができ、他人を思いやることができること。そして自分がどう行動したらよいかを考えて、行動を起こせること。そういうものではないかと。その結果、それができる人の「心」が周りの人を惹きつける、周りの人から信頼される、という関係性から生まれるのがリーダーシップであろうと考えます。中には、とても大人しくて目立たない子もいます。でも奉仕活動が好きで、進んでインターアクトの活動に参加します。ただ自分から人に話しかける勇気と言葉がなかなか出ない。そういう子には、「ただ、そこにいればいい。自分の心に無理をさせなくていい。」と言います。時間がたつと、だんだん皆にとけこんで楽しく過ごすことができます。

「心」のありようは目に見えず、当然数字で表すこともできません。それを、ロータリアンの皆様に育てていただいています。学校生活の範囲では、生徒たちがなかなか見い出せない価値観であり、実践が難しい教育です。その学校では出来ない教育をしてくださるのが、ロータリーだと実感しています。

学校は、とても狭い世界です。生徒たちがふだん接している大人は、基本的に自分の親と教師たちです。しかし、ロータリープログラムに参加すれば、さまざまな職業のロータリアンの皆様と交流する機会をいただくことができます。そして、今まで知らなかった世界にふれ視野が広がります。そこから学べることは計り知れません。学校の中にしかいないと、教師も世間知らずですから視野が狭くなり、世の中の常識から外れてしまうことがあります。幸いロータリアンの皆様にご縁をいただいてから、私の世界は大きく大きく広がりました。生徒たちと同じように、多くのことを学ばせていただきました。ロータリーは単年度ですから、毎年地区の役員さんたちが入れ替わります。何年もインターアクトの顧問をさせていただいていると、お会いできる方がどんどん増えていきます。皆さん素敵な方ばかりですから、これがもう、嬉しくてワクワクします。役員さんに限らず、ロータリープログラムに参加させていただくと新しいご縁があり、お蔭さまで、私はいつも目がキラキラしてしまいます。

生徒たちは、だいたい「歳はとりたくない。20台が人生の絶頂だと思う。」と言うのですが、この実体験にもとづいて、日頃からうちの生徒たちに「歳をとればとるほど出会える人が増えていくから、歳をとることは楽しいよ。素敵な方々が、自分を磨いてくださる。あなたたちの世代は、人生100年計画だから、とても楽しみだね。」と言っております。

ロータリアンの皆様には、公私ともにたいへんお世話になっております。プライベートで困った時にも、プロフェッショナルの皆様が親身になってアドバイスをくださり、時にはお仕事をお願いしたりしました。特にありがたかったのは、私の父が交通事故で亡くなった時、自分が病気になった時、母が倒れて亡くなった時と、それに関係するもろもろの対応です。この時は、弁護士さん・司法書士さん・お医者さん・司法書士さん・保険会社さん・葬儀社さん・不動産屋さん・税理士さんに助けていただきました。他にも、日常生活の中で、ふと疑問に思ったことや判断に迷うことがあっても、すぐにご相談できて本当に有り難いです。

さて、ロータリアンの皆様のご尽力くださっている大切な青少年の未来に目を向けますと、現状は、たいへん厳しいと言わざるを得ません。

ロータリーが目指していらっしゃる「世界平和」は、

単に戦争がない状態のことではありませんが、現在はその戦争さえ続いており、各地で紛争やテロが後を絶ちません。感染症の影響もありました。気候変動も起きて災害が多くなっている。日本は少子高齢化に拍車がかかり、国際的にも、どんどん貧しくなっている。かつては経済大国と言われていたのに、日々の生活さえ困難な人が増えている。そんな中で、「青少年として生きていること」は、いろいろな意味で負担が大きいに違いありません。

2年前に本校が幹事として企画したIAサマーミーティングでは、「少子高齢化をどのように解決していくか？」をインターアクターたちに考えてもらいました。具体的な政策とそのための財源をどうするか？という深い内容まで議論しました。当日は、講師をお願いしたロータリアンで現役の国会議員さんに、多くの具体的なデータを示して丁寧に説明していただきましたが、大人たちが今の深刻な現実をつくってしまった訳です。その中で、青少年たちに「希望をもちなさい」と言うのは、あまりに無責任です。

このように若者たちが重い負荷をかけられている世の中において、少しでも彼らに未来への明るい光を見せることができるか、いかにして希望をもてるようにできるのか、私たちが考えて行動していかなくてはなりません。その答えは、今、ひと言で申し上げることはできませんが、少なくとも、問いかけ続けなくてはならないと思います。そして、インターアクトの他にも、さまざまな教育プログラムを行ってくださっているロータリアンの皆様と、ロータリーファミリーとしてご一緒させていただいている私どもが連携して、未来のロータリアンを育てるべく、日頃の青少年の一つ一つの活動を支えていくことこそ、今私たちに出来ることなのだろうと思います。

インターアクターたちは「人の役に立てることをしたい。ボランティアって、楽しそうだからやってみたい。友だちを増やしたい。」と言ってクラブに入って来る子が多いです。そして活動を通して人に喜んでもらった時に、幸せを感じています。楽しかったと言います。これは、本当に尊いことだと思います。

親しくしている警察署の元署長さんから、かつていただいたお手紙にこう書いてありました。「教師として、これからも、自分に誇りをもてる若者を育ててください。」と。

とても重く心に響きました。「そうだ、人は誇りをもつことが出来れば、それを支えに困難に立ち向かっていく。誇りさえもてれば。」と思いました。

では、どうすれば誇りをもてるようになるのでしょうか？その完全な答えは見つかっていません。ただ、その方法の一つは、自分なりの価値観をもつことができ、それに基づいて行動することかと思います。そのためには、他の人と繋がっている、という実感を持てることが大切です。先ほどお話しした、インターアクターたちが「人の役に立ちたい」と思い、奉仕活動を通して「人の役に立てて嬉しかった、楽しかった」と思えること。こういった経験を通して、たぶん人間は「誇り」を持てるようになっていくのではないのでしょうか。

この素晴らしい青少年たちに、「あなたは正しい、あなたは素晴らしい。」と伝えて、隣にいて見守って、一人一人の背中を押してあげる。これが、若者たちが希望をもてるようになるために、今私たちにできることではないかと考えております。

本日は貴重な機会をいただきまして、ありがとうございました。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

#### 〈プロフィール〉

桐光学園中学校・高等学校

国語科教諭 林 直子 様

1990～1993年度～ 清泉女学院中学校・高等学校 勤務

1994年度～現在 桐光学園中学校・高等学校 勤務

現在まで26年間 インターアクトクラブ顧問

2017～2023年度 麻生警察署協議会委員

#### 〈記念日〉

##### 〈3月結婚記念日〉

宍戸 留美

藤井 邦一

新堀 史明

各会員

##### 〈3月入会記念日〉

鳥山 直樹 2005・3・5

伊藤雄一郎 2002・3・23

田村 清 2018・3・24

宝積 尚熙 1981・3・28

各会員

##### 〈3月誕生記念日〉

萩生田義久

福本 学  
井原 裕一

各会員



### 《スマイルレポート》

親松裕明様（川崎百合ヶ丘 RC）：皆様こんにちは。本日はじめてメイクアップに来ました。林先生の卓話楽しみです。

鳥山直樹会長・川崎智晴副会長・小野哲幹事：川崎百合ヶ丘ロータリークラブ会長 親松裕明様、ようこそお越しくださいました。当クラブの例会をお楽しみください。桐光学園インターアクトクラブ顧問 林直子様、本日の卓話、よろしくお申し上げます。林様は、ロータリー財団へ寄付（遺贈）をなさったと伺っております。林様のお話を、今後のロータリー活動に生かしていきたいと思っております。先日は、雪が降りました。まだまだ寒い日が続きますが、皆さん、御自愛ください。

北島達也会員：今月もよろしくお祈りします。

川崎智晴会員：①鳥山会長、昨日は大変ご馳走様でした。  
②林直子様、学校のある中当クラブへ出張よろしくお祈り致します。

水谷透会員：林先生、いつもインターアクトではお世話になります。本日の卓話宜しくお祈り致します。

青柳隆之会員：桐光学園インターアクトクラブ顧問 林直子様今日は宜しくお祈りします。

青木理会員：①林先生、卓話楽しみです。川崎百合ヶ丘ロータリークラブ会長 親松様ようこそ。②鳥山会長ご馳走様でした。

岸厚子会員：桐光学園 林先生、川崎百合ヶ丘 RC 親松会長、今日はありがとうございます。

角井幸一会員：今日の卓話、楽しみにしております。

福本学会員：林先生、本日の卓話よろしくお祈りします。楽しみです。親松さん、ようこそいらっしゃいました。

高橋常男会員：家庭菜園ではじめましたパッションフルーツですが、屋外の寒さにも負けず、温暖化のせい、日当たりがよかったせい、太くなった枝からは青々とした大きな葉が出ております。今年はたくさん

の果実がみられますことを切に願っております。本日は、「ロータリーとの出会い」桐光学園インターアクトクラブ顧問 林直子様の卓話を楽しみに参りました。宜しくお祈り致します。

澤田美穂子会員：月曜日飲み過ぎてメガネをなくしてしまいました…。飲み過ぎには注意したいと思います。明日は、「和の集い」、お手伝いしながら楽しみたいと思います！

井原裕一会員：本日は桐光学園インターアクト顧問 林直子先生の卓話、楽しみにして来ました。

北井一也会員：木曜日に仕事で契約取れました！少ないですが気持ちです。

鳥山直樹会員：入会祝いありがとうございます。

伊藤雄一郎会員：入会祝いありがとうございます。入会22年目になりました！

萩生田義久会員：誕生祝い78回目になります。

井原裕一会員：お祝いありがとうございます。インターアクト卒業から40年の58歳になりました。ロータリーファミリーにはお世話になりっぱなしの人生です。

福本学会員：誕生祝い50歳になります。

新堀史明会員：結婚祝いありがとうございます。もう結婚して何年経ったかわかりません！

蒲隆夫会員：スマイルに協力して。

小原淳会員：スマイルに協力して。

鈴木康昭会員：スマイルに協力して。

田島文男会員：スマイルに協力して。

武居正則会員：スマイルに協力して。

小野澤寿一会員：スマイルに協力して。

岩崎吉明会員：スマイルに協力して。

藤塚雄大会員：スマイルに協力して。

藤井邦一会員：スマイルに協力して。

石野貴史会員：スマイルに協力して。

本日のスマイル 34件

（今月の会報担当 井原 裕一 会員）

◎スマイルリクエスト

永島 克政 会員「贈る言葉」

金八先生の思い出の曲でこの時期になると思い出します。

